

ウチョウラン

Orchis graminifolia (Reichb. fil.) Tang et Wang

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

もともと稀産の植物であるが、近年特に園芸採取の危険が大きい。(現況:R-)

形態

ハクサンチドリ属植物のうち、根が球形に肥厚する仲間で、葉は2~3個、花被片は鈍頭またはやや鋭頭。茎は肥厚した塊根より出て斜上、高さ7~20cm。葉は線形または広線形で長さ7~12cm、幅3~8mm、上方は湾曲、基部は鞘となって茎を抱く。花は紅紫色、数花が偏って着く。唇弁は萼片より長く、深く三裂する。苞の長さは7~12mm、背萼片は長さ6mm、距は湾曲して長さ1~1.5cm。種内変異に富む。

国内分布

本州、四国、九州、さらに朝鮮に分布。

県内分布

白山山麓をふくむ南加賀区、加賀中央区。

生態など

地生の多年生草本。開花期は6~8月。

生育環境

ブナクラス域の岩壁など。

危険要因

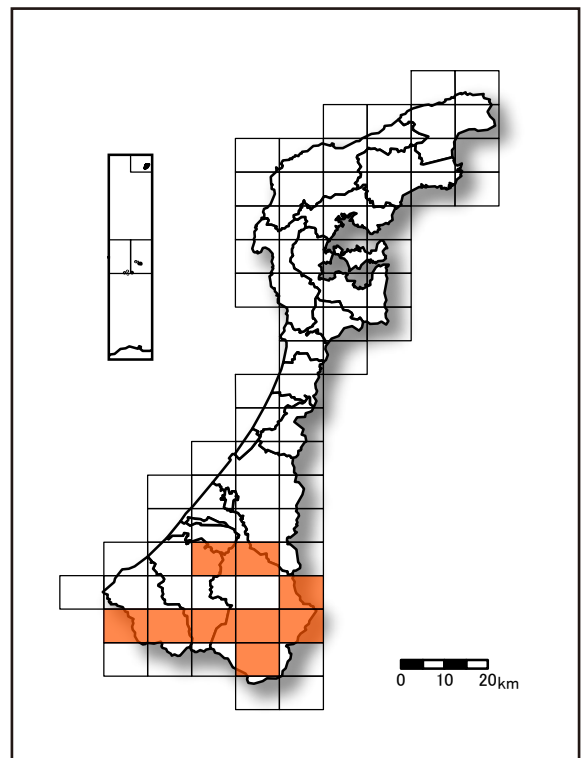
土地造成、道路工事、園芸採取、産地局限、不明。

特記事項

山野草栽培に愛好される。



白井伸和・2008年6月28日・白山市



県内の分布